

須藤市政3期目 所信表明

6月1日の令和8年みどり市議会第2回定例会で、市政3期目となる須藤市長が所信を表明しました。全文はホームページをご覧ください。

☎秘書課 (76)0957



①いきいき・みどり市創生 ～関係人口の増加で活力を～

- 映画『赤土に眠る』の公開に合わせ、みどり市の歴史や文化を世界へ発信
- 湯けむり国スポ・全スポぐんま2029に向けスポーツによるまちづくりを推進
- 市長自ら地域の魅力を発信



へるすぽでのボッチャ体験

②子育て・教育の充実 ～子どもたちが生き生きと育つまち～

- 「こども未来基金」を活用した全国トップクラスの子育て支援
- 「MIDORI放課後アカデミー」の開始
- 全天候型の屋内遊び場の整備
- 子どもたちの思いをまちづくりへ反映



こどもみらいミーティング

③健康・医療・介護・福祉の充実 ～みんなが自分らしく健康で暮らせるまち～

- 「スポーツ・健康都市宣言」を行い「あるくまちみどり」をスローガンに元気プロジェクトを推進
- 市温泉施設「YS湯～トピアみどモスパ」を健康増進と交流の拠点として活用
- 交通と医療が連携した新たな仕組みづくりを推進



移転新築した市温泉施設

④「環境立市」宣言 ～産業・農業・林業・観光をもっと強く～

- 渡良瀬幹線道路や産業団地の整備による雇用創出と地域経済の活性化
- 滞在型宿泊施設や富弘美術館など、各地域の資源を生かした観光まちづくり
- 道の駅の整備や地元農産物の活用
- ジビエ加工処理施設の整備



来年3月にオープン予定の滞在型宿泊施設

⑤安心・安全を守る ～住み心地の良いまち～

- 交通渋滞の解消や公共下水道整備・合併浄化槽への転換の補助
- トイレトラックの活用や備蓄食料・飲料水の充足率向上
- デジタル化や組織体制を見直し、新時代にふさわしい市役所づくりを推進



トイレトラック

3期目のスタートは、市制施行20周年という節目の年です。未来につなぐ転換とみどり市を全国にアピールする飛躍の年として、持続可能なまちづくりの実現に向け、未来へ誇れる市を築く所存です。

8年前の市長就任以来、市の最大の課題である人口減少に対し、都市基盤の整備と子育て環境の充実について、未来への投資として重点的に推進してきました。その結果、昨年は市外からの転入者が転出者を上回る社会増が合併後最大となり、人口規模に対する社会増率は県内トップ水準を記録するなど、確かな成果として現れ始めています。3期目も引き続き人口減少対策を最優先課題として推進します。

これからの4年間は、人口減少対策と地域の稼ぐ力の向上を柱に据え、教育・子育て、働く場、移住・定住、観光などの各目標を次の段階へ進めていきます。

人口減少の時代にあっても歩みを止めることなく、責任感と情熱を持って市政を前へ進めていきます。そして、これまで培った経験と人脈を最大限に生かしながら、市民と共に未来に誇れるみどり市創生に全身全霊で取り組んでいきます。

みどり市長
須藤 昭男

公約に掲げる5つの柱

- ①いきいき・みどり市創生
- ②子育て・教育の充実
- ③健康・医療・介護・福祉の充実
- ④「環境立市」宣言
- ⑤安心・安全を守る

